

患者さんと相病院を
つなぐ広報誌

VOL.31
2024
(3月)

かけはし

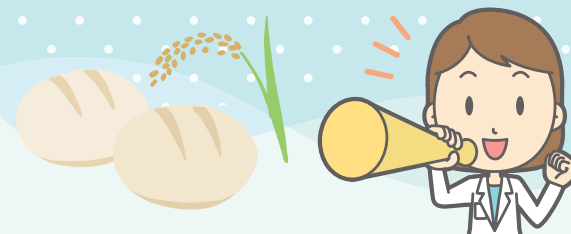


当院におけるロボット手術

2人主治医制のご案内

特集

栄養部のSDGs取り組み紹介
～米粉推進活動～



米・米粉の消費拡大とSDGs*1

街中を歩いていると、米粉を使ったお菓子やパン、麺などを見かけることはありませんか？

お米は唯一国内で賄える、食料自給率が100%の穀物ですが、米の生産量や消費量共に減少傾向にあることが問題となっていることから、米菓やお団子を作るのに使われていた米粉を、パンや製菓、麺など小麦粉のかわりに使うことが増えてきました。米粉は日本の食料自給率を支えるというSDGsの観点からも今注目されている食材です。

わたしたち栄養部では、SDGsへの貢献を目的に、米粉推進チームを立ち上げ、米粉を使った料理を病院給食に提供し始めました。

*1 SDGs(エスディーゼズ)とは、持続可能な開発目標の略で、貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人たちにとってより良い世界をつくるために設定された、世界共通の17の目標です。

米粉の特徴

米粉 普段のお料理に
 ・揚げ衣につかうとサクッと食感。小麦粉に比べ、ヘルシーに
 ・片栗粉のかわりにとろみつけ

米粉 お菓子やパン作りも大活躍！
 ・クッキーはサクッと、ケーキはモチっと
 ・粒子がきめ細やかなのでダマにならない
 ・製菓やパンなど用途に合わせて米粉の中でも種類がある

米粉 からだにやさしい
 ・グルテン*2がないため、米粉なら小麦を食べられない人も安心

*2 グルテンとは、もちもちした食感と弾力のもととなるたんぱく質の一種で、体内で消化されにくい、腸内環境を悪化させる原因になることがあります。

みなさんも米粉商品を見かける機会がありましたらぜひ一度手に取ってみてはいかがでしょうか。

提供した米粉料理のご紹介

院内給食ではほうじ茶プリン、唐揚げ、栗蒸し羊羹、クッキーを提供しました。現在もなお調理研究に励んでいます。

その中で今回はみんなで楽しめる米粉クッキーのレシピをご紹介します。



米粉クッキーの作り方(10人分)

米粉	100g
バター	25g
サラダ油	25g
卵	35g
砂糖	30g
メープルシロップ	10g
グラニュー糖	12g



一人分の栄養価

エネルギー111kcal
 たんぱく質1.0g
 脂質5.9g 炭水化物13.1g
 カリウム12mg リン7mg
 塩分0.0g 食物繊維0.0g

- ①オーブンを150℃に予熱しておく。
- ②バターを常温に戻しておく。
- ③グラニュー糖以外の材料を1つのボールに計量し混ぜ合わせる。
- ④まとまった生地を約20cm・四角に成形する。
- ⑤成形した生地にグラニュー糖をまわりに付け、ラップを巻いて冷凍庫で冷やし固める。
- ⑥冷え固まっていることを確認して、1本を30等分にカットしてクッキングシートを敷いて並べる。
- ⑦オーブンで150℃・18分焼く。

★Point★
 米粉は振るわずにそのまま使用できます

当院におけるロボット手術



2022年に当院に導入された手術用ロボット「ダビンチ」による手術は、多くの利点を持つ最新治療法の一つで、外科（呼吸器、上部・下部消化管、肝胆膵）、婦人科、泌尿器科領域で実施しております。

実際、泌尿器科で実施しているロボット前立腺全摘除術は、出血量減少と術後機能改善のメリットが実証されています。このように、ロボット手術は高度な精度を誇り、病変部位に対して微細な操作が可能のため、安全性と根治性が向上し、出血や合併症の減少が期待されます。

地域の患者さんにとって、最新の治療法を提供し、安全性を高めることが私たちの使命です。詳細については、各科外来でお気軽にご相談ください。



2人主治医制のご案内

「2人主治医制」とは、患者さんを中心として地域の「かかりつけ医」と当院の医師が互いに連携し、共同で継続的に治療を行うことです。

かかりつけ医



- ① 初期治療
- ② 日頃の健康管理
- ③ 慢性的な病気
- ④ 経過の観察、普段の診察



慈恵医大柏病院

- ① 高度かつ専門的な検査・治療
- ② 入院を要する治療・検査・手術
- ③ 病状が急変したときの救急医療



● 地域の「かかりつけ医」と当院の医師が「2人主治医」として、患者さんの病状や治療経過などの情報を共有し、役割分担しながら協力して患者さんを支えます。

● 当院での治療で症状が安定ののちは、再び「かかりつけ医」にて治療を継続していただきます。

● 緊急時や詳しい検査などが必要となった場合は、「かかりつけ医」から当院へ速やかにご紹介いただきます。

東京慈恵会医科大学附属柏病院

〒277-8567 千葉県柏市柏下163番地1

TEL.04-7164-1111 (代表)

<http://www.jikei.ac.jp/hospital/kashiwa/>

